

2期、8年。

医療と
国際化と
地元愛

初当選から、早8年。
港区のために、地域のために。

港区育ち

麻布十番出身、区立東町小学校

理系

米国サウスカロライナ大学 理学部卒
日米で新薬臨床開発に15年

自民党

港区自民党議員団 副幹事長

港区議会議員

小倉りえこ

港区でよかった!と実感できるために

- 1 医療・福祉環境の充実
- 2 国際化のための環境改善
- 3 地元愛のまちづくり

<https://ogura-rieko.com>



YouTube



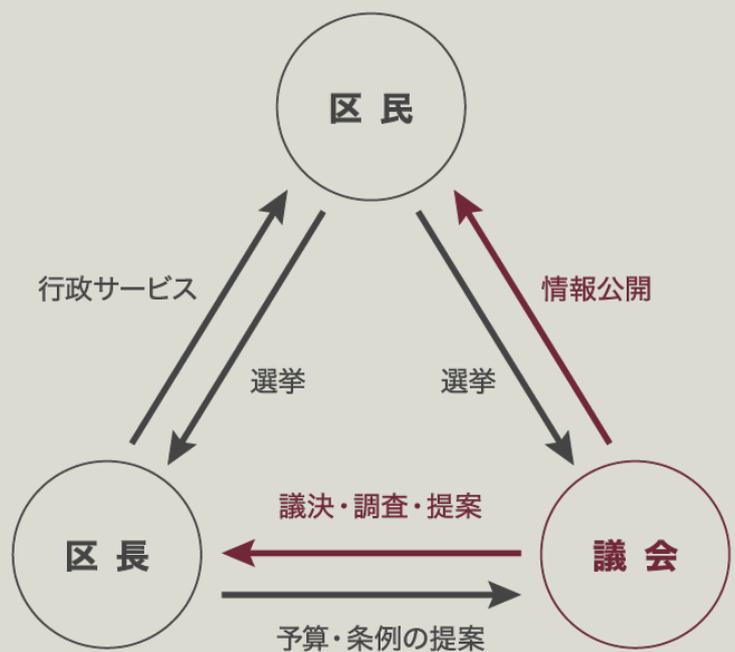


議会は
区のチェック機関

私の役割

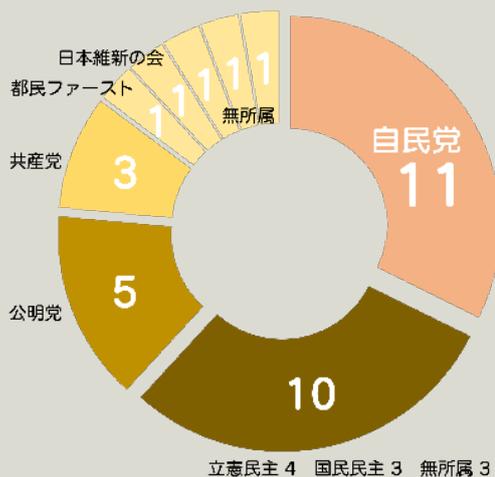
- 1 区民の要望を伝達
- 2 より良い区にするための政策提案
- 3 正しく事務執行されているか確認

議員が区を確認するように
みなさんも議員の活動の確認を



港区議会

会派構成



会派数、9。

政党離党などの理由で会派が増減することも。自民党は単独政党構成の最大会派。

女性議員比率



自民党議員団11名のうち、女性は3名。港区議会全体では12名、約1/3。

34

港区議会議員 定数

200,000

港区人口は約26万人
有権者は約20万人

35.37

2019年 区議選投票率
23区中ワースト1



取り組み





区の施策に反映

様々な提案や取り組みが区に採用され、カタチになっています

防犯カメラ無償貸与事業



敷地内へのごみ不法投棄など、繰り返される迷惑行為対応の短期間レンタル事業
(2022.10開始)

補聴器購入費助成制度



補聴器相談医と認定補聴器技能者が必ず関わり、正しく適正に使い続けるために
(2022.4開始)

教科担任制先行導入



小学校高学年体育科と社会科から、学校教員のため、子どもたちの学力向上のために
(2022.4開始)

崖・擁壁改修費助成増額



民間地所有の崖や擁壁の改修推進は安全安心のため、急傾斜地の多い港区のために
(2021.4開始)

公衆衛生の見地を



1日でも早い提供体制のために
2年間常に全力で区と協働で

新型コロナウイルス ワクチン接種

- 1 区内保育園・幼稚園
学校教員向けに初期展開
- 2 経済活動を守るため
区内商店街へも対象拡大
- 3 区民以外のどなたでも
「誰でも接種」開始
- 4 予約不要は当たり前
区民は接種券も不要に

「港区なら打てる」
誰でもワクチン接種



港区の取り組みは
全国トップクラス

15施設

最大
集団接種会場

85%以上

12歳以上
区民初回接種率

9,000人以上

誰でも接種
ご利用人数累計

区民のみなさんから



ご要望を
カタチに



がん患者のための
ウィッグ購入助成



網代公園に麻布地区初
区立公園内防犯カメラ



小児初期救急事業
週6日へ拡大



区立小中学校
日本語学級増設



六本木中学校 英語科
ネイティブコース開設



やさしい日本語
普及啓発

まちの整備、推進



歩車道整備進行中

6年間の下準備を経て、歩車道整備を予算化
側溝・排水溝も改修して水害リスク低下へ



標識設置完了

地元からの要望で、「十番稲荷神社前」標識設置
東京都の事業で、要望から約2年かけて実現



良好な居住環境・商店街に

人が住む街。風俗営業店舗出店抑制を目指すため
商店街地域内一部で「まちづくりビジョン」登録



地元
麻布十番

自民党議員団として

震災対策基金



震災復興基金 →
(2017)

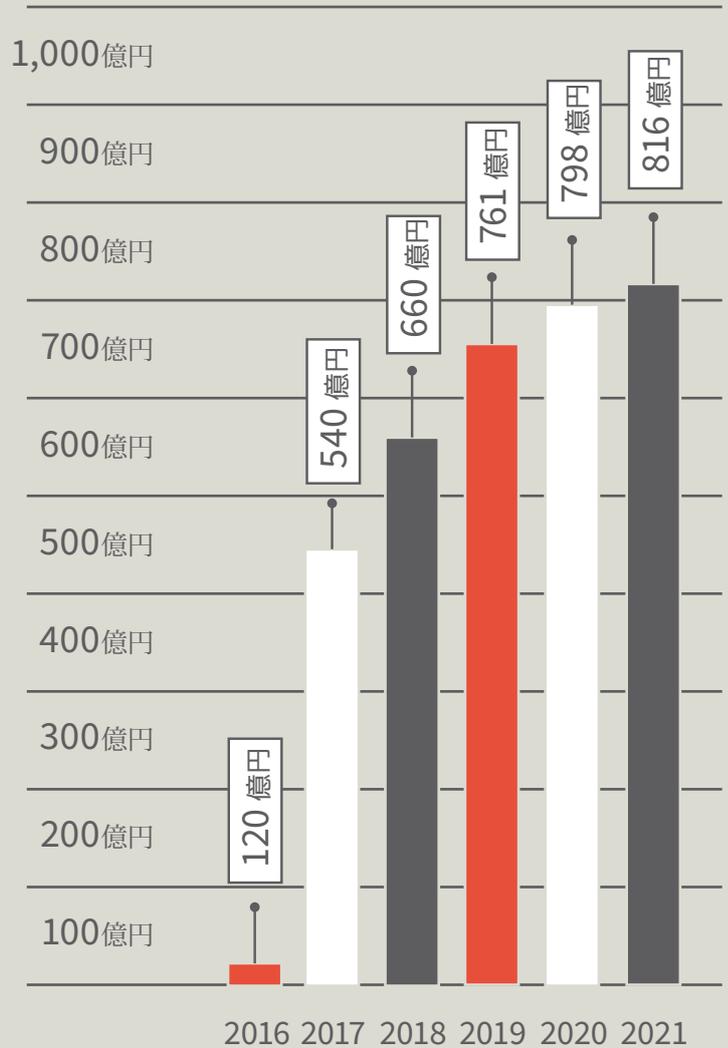
港区震災後の区民生活の再建並びに産業及びまちの復旧復興並びに新型インフルエンザ等が発生した場合における感染拡大の防止並びに区民生活及び産業の安定のための基金

(2020)

震災復興基金の用途は震災被害のみに限定。

台風や豪雨などの自然災害にすら適応されないことから改善を求めていたところ、2020年新型コロナウイルスパンデミックで、強く働きかけ。

震災以外への適応が拡大になり、コロナ禍支援にも使えることに。



緊急事態宣言下における端末貸出



休校中の自宅学習用にタブレット端末とWi-Fiルーターを希望者に貸し出し。区立学校のオンライン体制を一気に推進。

自民党発案で所得制限撤廃の意見書



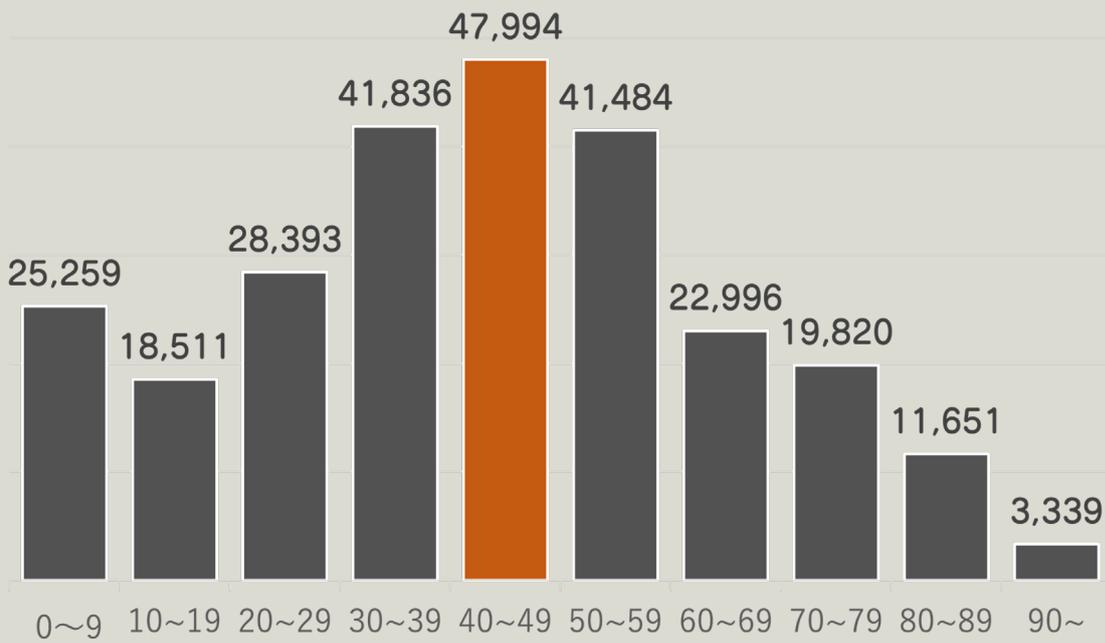
国と東京都に対し、子育て支援策に係る所得制限の撤廃及び子どもへの直接的な支援拡充を求める意見書を提出。

港区人口 (2022.10.1現在)



昭和22年(1947)
旧芝・麻布・赤坂区が
統合し、港区が誕生

面積: 20.37km²
23区中、12番目の広さ



MINATO
CITY

